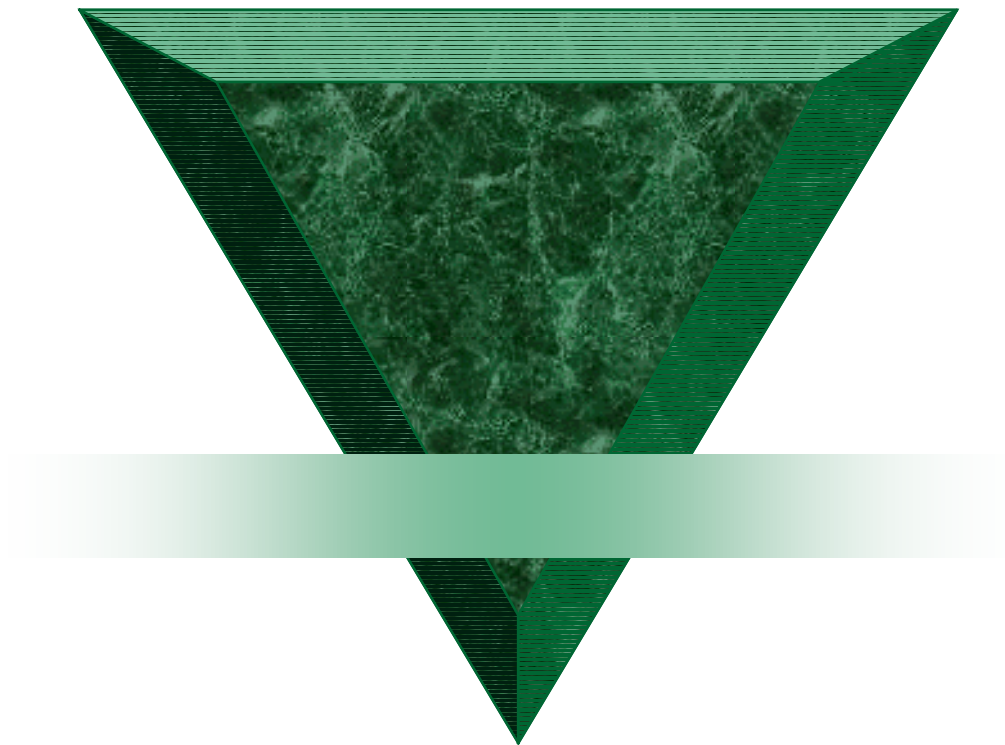




データで見る日本企業

- 21世紀の経済・企業を把握する統計とは -

2003.2.7

田辺 孝二



はじめに・自己紹介

- ▼ 経済産業省調査統計部長(2002.7～)
中国経済産業局長(2001.7～2002.7)
統計、行政情報化、技術政策、アジア協力
- ▼ 早稲田大学客員教授(2001.4～)
「シンガポールのIT革命」講義
- ▼ リチャード・レスター「競争力」の共訳
2000年2月、生産性出版
- ▼ 京都大学理学部(数学)卒



重要な統計の見方

▼ 大学の研究者数と研究費

	日本	米国
研究者数	24万人	14万人
研究費	3. 2兆円	3. 6兆円
特許数	68	3151

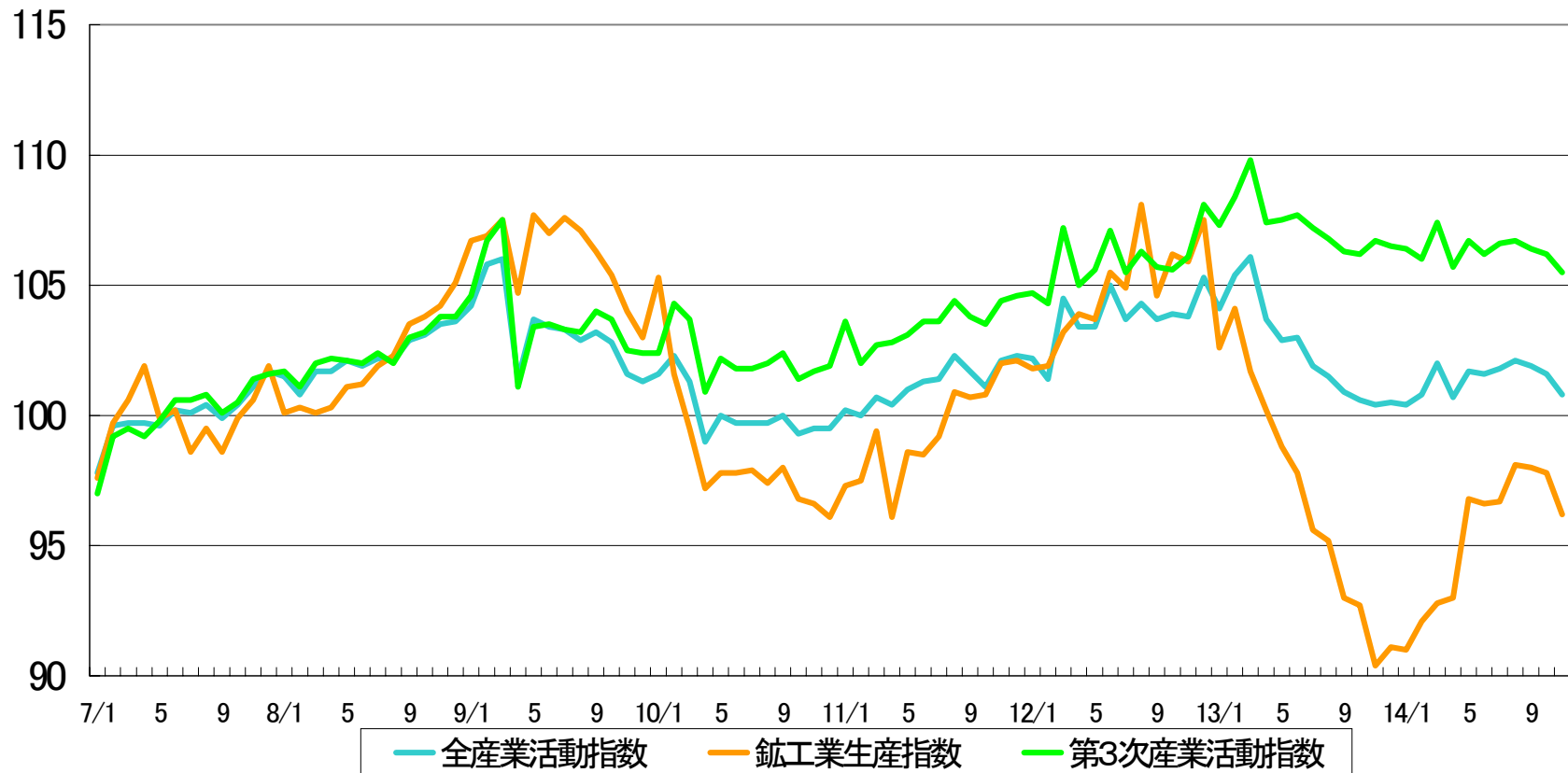
日本の大学はパフォーマンスが低い？

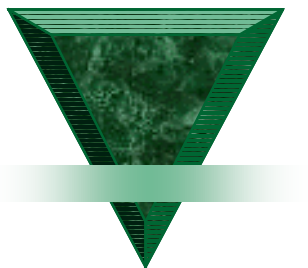


転換期にある日本経済

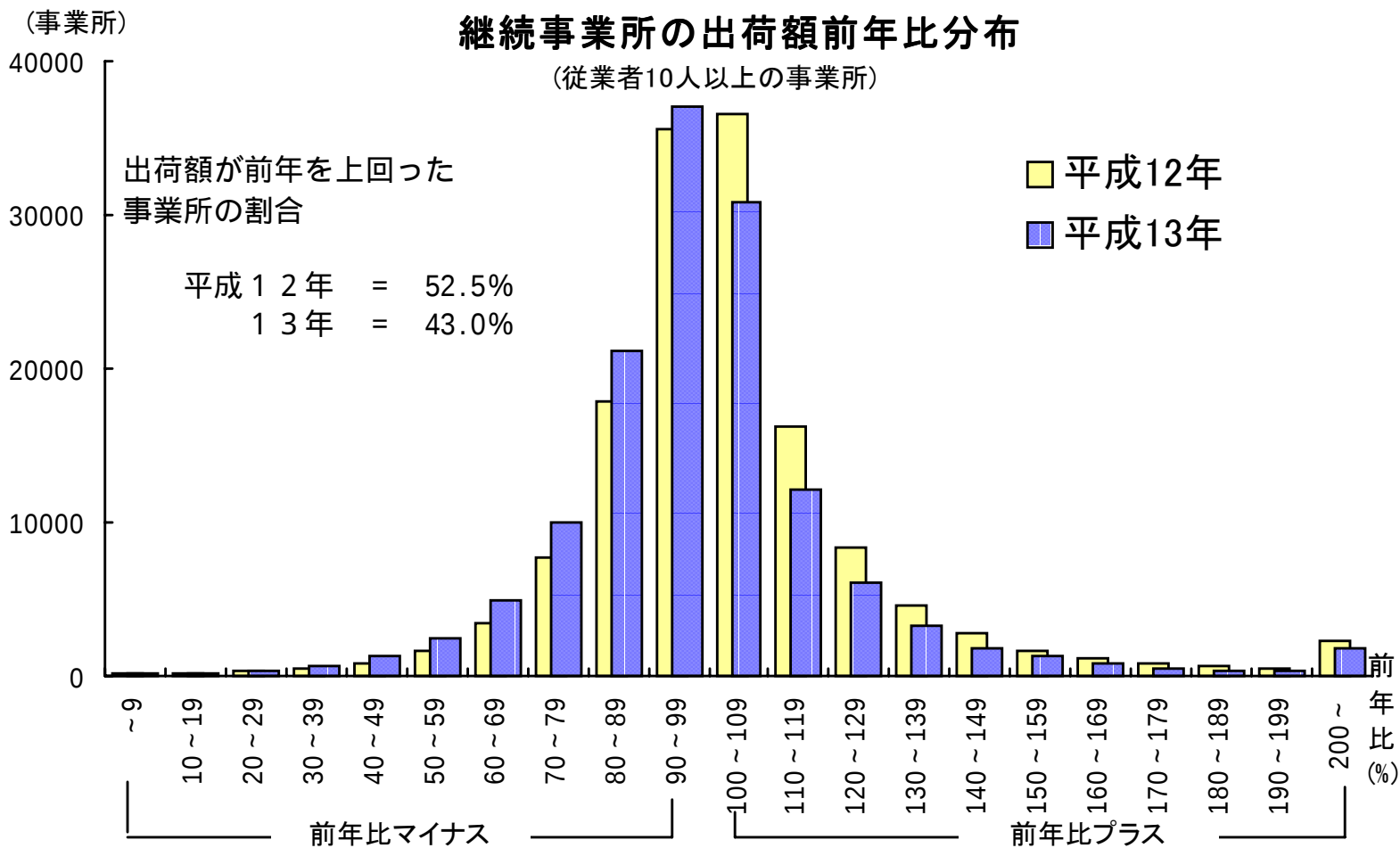
鉱工業生産・第3次産業活動・全産業活動指数の推移

(平成7年=100、季節調整済)





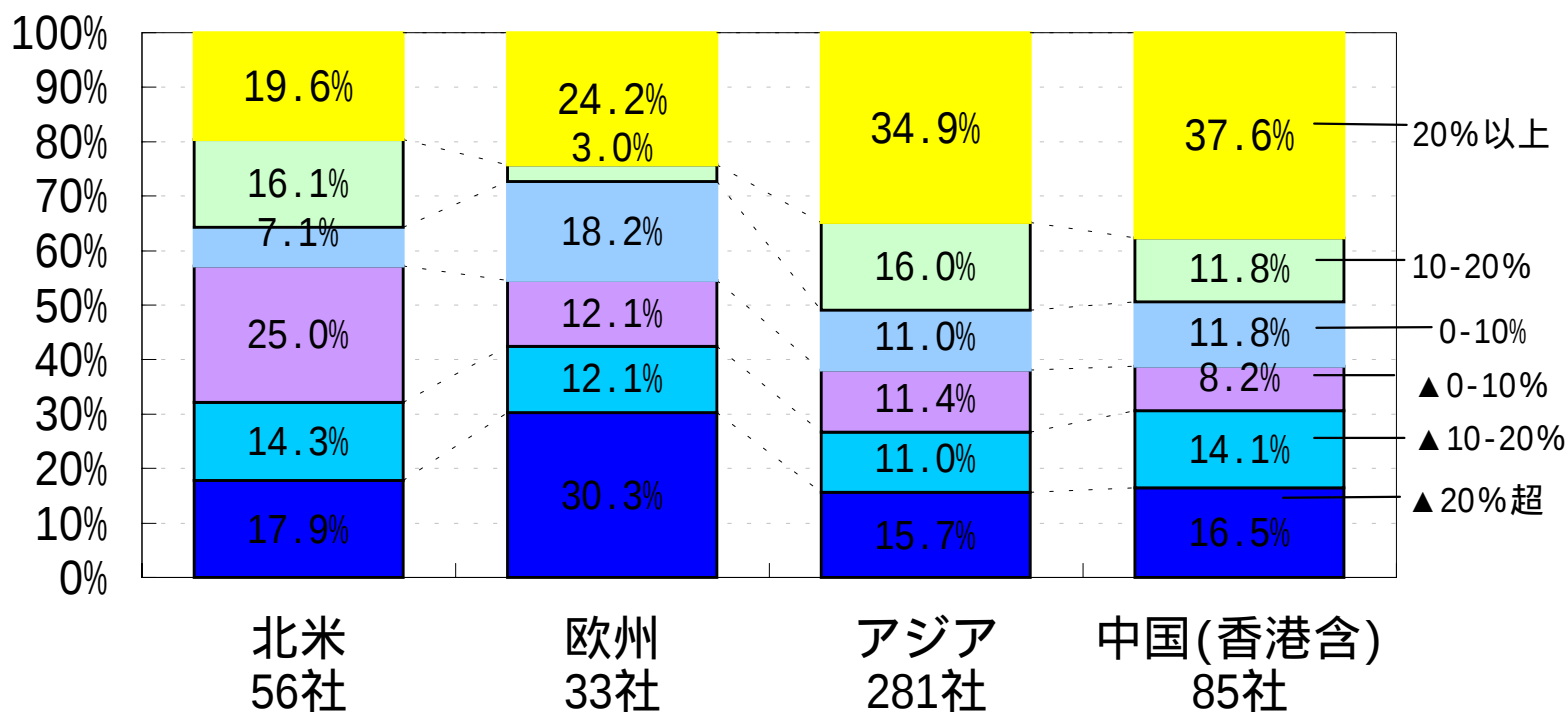
ダイナミックに活動する企業 ー工業統計から見た出荷額分布ー





中国でみんな成功しているわけではない — 企業動向調査(四半期) —

海外現地法人（電気機械）の売上高14年7-9月期実績
地域・国別 前年同期比増減率別
現地法人数割合





中小企業が経済再生に重要

▼ 企業規模・年齢と企業成長率の関係

- 企業規模が大きくなると成長率は小さくなる
- 企業規模が大きくなると生存率は大きくなる
- 企業年齢が古くなると成長率は小さくなる
- 企業年齢が古くなると生存率は大きくなる

経済産業省中小企業庁調査室長(前信州大学教授)
安田武彦氏の分析による



日本の大きな発展可能性

▼ 素晴らしい資産 → 競争力の源泉は「人間」

- 資金力
 - 技術力
 - 市場力
 - ソフト力（価値観、感性）
- どういう社会を実現するのか

▼ 活用されていない人的パワー

- 大学パワー
- 優秀な外国人専門家パワー
- 女性パワー



21世紀の統計のあり方（Ⅰ）

▼「政策のための統計」

→ 「自分たちの行動のための統計」

- ・業種別から業績別の統計へ
- ・「数量の変化」から「実質価値の変化」へ
- ・社会の目指すべき方向に対応した統計

「人に対する投資」重視の統計枠組み

→ 個人投資 教育費、健康増進など

企業無形資本投資 人財育成

公的無形資本形成 大学の教育・研究、等



21世紀の統計のあり方(Ⅱ)

- ▼ 変革を促す統計に対する社会としての投資
 - ― 新分野(サービス、リサイクル等)の統計
 - ― ビジネス活動の総合的把握
 - ― 地域経済の実態把握、等

- ▼ 大学での実践的な統計教育・研究の拡充
 - ― 研究活動・ビジネス活動の基本
 - ― 経済・産業の実態把握、政策効果の測定